



AUVと記念撮影する浦環理事長

ごあいさつ

海は無限の可能性を秘めたフロンティアです。水中ロボットは、そのフロンティアに挑むハイテクビークルとして、今世界中で開発が盛んに行われています。

特定非営利活動法人日本水中ロボネットは、水中ロボットや水中工学に関心をもつ人たちのネットワークとして設立されました。

水中ロボット競技会などのイベントを通じて、多くの方が水中ロボットに関心を持っていただき、次世代の水中ロボット工学や水中工学の研究開発や教育の発展に繋がっていくことを期待しています。

チャレンジングスピリット旺盛な皆様の参加をお待ちしています。

理事長 浦環

理事・顧問

理事長	浦環	(株)ディーブ・リッジ・テク
副理事長	石井 和男	九州工業大学
理事	有馬 正和	大阪公立大学
	鵜久森 洋生	松山工業(株)
	門田 和雄	神奈川工科大学
	菊池 聡	海洋研究開発機構
	杉浦 富夫	杉浦機械設計事務所
	西村 一	Abyss Observatory
	巻 俊宏	東京大学
	吉田 弘	海洋研究開発機構
監事	高川 真一	高川技術設計
顧問	中原 裕幸	神奈川大学

入会規定・寄付

個人会員と賛助会員があります。参加にあたっては1口よりの入会金と年会費のお支払いをお願いしております。

入会金	正会員(個人)	1口 2,000円
	賛助会員(個人・団体)	1口 10,000円
年会費	正会員(個人)	1口 2,000円
	賛助会員(個人・団体)	1口 10,000円
イベント協賛	イベントごとに協賛をお受けしております。詳しくは協賛依頼・HPをご確認ください。	
寄付	千円からお願いしております。HPからクレジットカード支払いが可能です。	

賛助会員・協力団体

日本財団、防衛装備庁、神奈川県、山口県、横須賀市、岩国市、海洋研究開発機構、東京海洋大学、東京大学生産技術研究所、九州大学社会ロボット具現化センター、日本船舶海洋工学会、テクノオーシャンネットワーク、IEEE OES 日本支部、MTS 日本支部、アクアモデラーズ・ミーティング、(一社)日本水中ドローン協会、(株)博洋堂、(有)杉浦機械設計事務所、松山工業(株)、(株)Full Depth、日本水産(株)、(株)SeaChallenge、ミサゴ(株)、(株)スペースワン、(株)ロボティズ日本支社、(株)ARAV

組織について

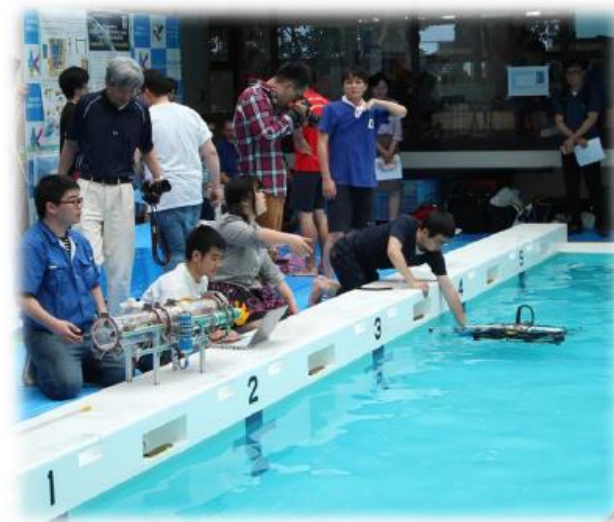
設立趣旨	本法人は、水中ロボット工学及び水中工学に興味を持つ者、研究開発及び教育に携わる者等に対して、水中ロボットの競技会及び、これに関連する講習会、展示会の開催、情報収集、調査研究並びにコンサルティング等その他事業を行い、次世代の水中ロボット工学及び水中工学に関する研究開発及び教育の推進及び発展に寄与することを目的とします。
代表者	浦環
住所	〒220-0033 神奈川県横浜市西区 東ヶ丘41番地10 (株)博洋堂気付 特定非営利活動法人日本水中ロボネット
連絡先	Info@underwaterrobonet.org
設立年月日	2013年(平成25年)1月4日

海に囲まれた国・日本
その日本の未来のため
人材と技術を育てる
私達はそんなNPOです



特定非営利活動法人

日本水中ロボネット



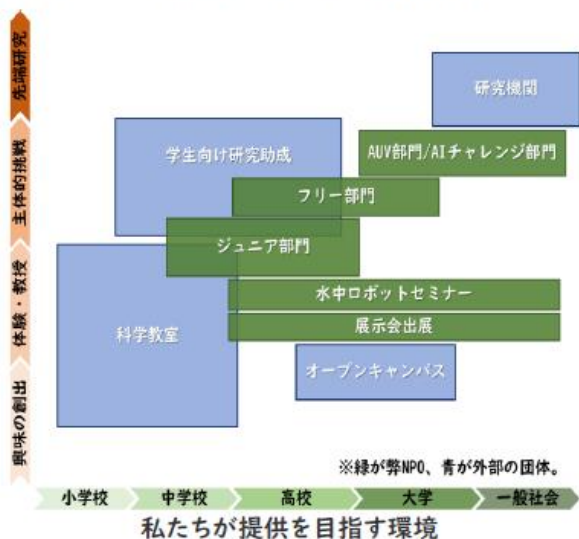
私たちの活動

私たちは、年間を通して次世代を担う青少年を主な対象として、水中工学の普及・啓蒙活動を約10年間継続的に行っています。会員は大学関係者から研究所、企業など幅広く横断的な性格を有しており、特定企業をベースとしない中立的な立場から水中ロボット工学と水中技術の普及に努めています。

主な活動内容としては、水中ロボット競技会、水中ロボット工作教室、水中ロボットセミナーを定期的に開催しています。また、国際ロボット展、Maker Fair Tokyoへの展示を継続的に行うほか、ご依頼によりほかのイベントへの協力も行っております。

下の図は当NPOの目指す活動範囲を図に示したものです。多くの科学教室は学年に合わせて実施を行うため、学年による断絶が起こりやすくなります。しかし、私たちは社会への普及・啓蒙活動を行う、一般社会までのシームレスな活動を行えるような活動を標榜しています。

例えば、水中ロボコンでは中高生から参加できるジュニア部門、その上の段階が参加するフリー部門やAUV部門など、参加者の技術段階に合わせて継続的に参加できる仕組みになっています。さらに、水中ロボットセミナーでは実際に海洋に出て活動しているプロの研究者や技術者、企業家を講師として招いて講演いただくことで、海に興味を持つ中高生からブルーオーシャンを目指す企業の皆様まで、広い範囲の方々に参加ができる仕組みをご用意しております。



水中ロボット競技会

水中ロボット競技会は2006年から開催されている水中ロボットの祭典です。当NPOの主催する水中ロボット競技会は年2回で、東日本で開催される「水中ロボットコンベンション」と西日本で開催される「水中ロボットフェスティバル」「Techno-Ocean水中ロボット競技会」です。※1

参加チームは日本全国からあり、海外からの参加事例もあります。定められたコースを人の手を借りずに自力で走行するAUV部門、生物模倣や特殊な機構などの個性を評価するフリー部門、中高生向けのジュニア部門が行われます。また、2020年度よりAIチャレンジ部門が新設され、AI×水中でイノベーションを目指す若手の育成に努めています。

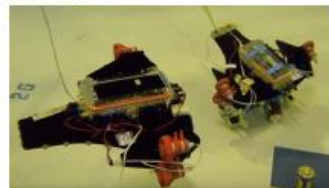
さらに、当NPOでは大会の主催だけではなく沖縄海洋ロボットコンペティションへの協力も行っており、国内の主要な水中ロボット競技会の普及・運用に積極的に取り組んでいます。



高度な自律制御と機体の確実性が求められるAUV部門
物体検出やライントレースなどを自律制御で行う競技です。



アイデアと実現性が評価されるフリー部門
生物模倣や特殊な機構などを用いてアイデアを実現し、その完成度により評価されます。



中高生へ学びを提供するジュニア部門
ジュニア部門では事前に提供したキットを組み立て、改造して缶拾い競技に臨みます。

※1.Techno-Ocean開催年にはTechno-Oceanの水中ロボット競技会として開催しています。

その他の活動

水中ロボコン以外でも水中ロボットセミナーやMaker Fair Tokyo、依頼をいただいたイベント協力などの形で水中ロボット技術の普及活動を行っています。



水中ロボットセミナーでは専門家が最先端の技術を解説



Maker Fair Tokyoでの展示



国際ロボット展での展示

各地で教育や啓蒙活動を実施しています

ホームページ

下記のホームページにて活動報告を行っております。
会員登録なども下記より可能ですので、ご確認ください。

公式ホームページ
<http://underwaterrobotnet.org/>

Twitter
<https://twitter.com/JapanUWRobonet>

